

取組の重点

第Ⅱ期 学ぶ力向上滋賀プラン（5年目・終期）

子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図り、3つの視点において、次の内容を重点として「学ぶ力」向上の取組を進めます。各学校等において3つの視点からの取組の焦点化を図り、全ての教職員による「共通理解・共通実践」の充実に重点を置きます。



視点1 学びを実感できる 授業づくり

- 子ども一人ひとりの学びの状況に応じた**基礎的・基本的な知識・技能の定着**に向けた指導の充実
 - ◆「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる「**読み解く力**」の視点を踏まえた授業づくりの推進・充実
- ★ICTの効果的な活用による「**個別最適な学び**」と「**協働的な学び**」の充実

POINT

- 資質・能力の育成に向けて「教科等の指導力点」を意識した授業実践を行う。
- 校内研究（主題、内容等）に「**読み解く力**」を関連付けて授業改善を進める。
- 子ども一人ひとりの学びの状況を的確に把握し、「わかった」「できた」につながる「**個別最適な学び**」を進めるとともに、学習評価の改善・充実に努める。
- 学ぶことの楽しさや大切さ、価値に気づき、自ら学びに向かおうとする子どもを育成する。

視点2 学ぶ意欲を引き出す 学習集団づくり

生徒指導の実践上の視点を意識した学習集団の基盤づくりと授業づくりの充実

POINT

- 自己存在感の感受を促進
- 共感的な人間関係を育成
- 自己決定の場を提供
- 安全・安心な「居場所づくり」に配慮
- 学習集団づくりと「**協働的な学び**」の関連を図る。

生徒指導の実践上の視点

視点3 子どものために一丸となって取り組む 学校づくり

学校全体で組織的・継続的に実践する「学ぶ力」向上の取組の充実



POINT

- 管理職のリーダーシップのもと、学ぶ力向上推進リーダー等を中心に取組を焦点化し、全ての教職員による「**共通理解・共通実践**」を進める。
- 取組について、推進する組織を確立し、検証・改善する手立てを具体化し、実践について定期的に確認する。
- 計画的・継続的にOJT研修等を実施し、実務を振り返りながら教職員一人ひとりの自発的な成長を支援する。

視点1 教科等の指導力点

研究授業や日常の授業等において、以下の指導力点を意識し、子どもが学びを実感できる授業づくりを進めます。



各教科等の資質・能力の育成に向けた

- ：基礎的・基本的な知識・技能の定着に向けた指導の充実
- ◆：「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりの充実
- ★：ICTの効果的な活用

幼稚園等

- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に、幼児が主体的に環境と関わって十分に活動し、充実感や満足感を味わえるよう、環境構成や援助を行っているか。
- ◆次の活動への期待や意欲をもつことができるよう、教師や他の幼児と共に、遊びや生活の中で見通しをもったり、振り返ったりするよう工夫しているか。

国語(小)

- 意味を理解している語句の数を増やしたり、話や文章の中で使いこなせる語句を増やしたりする指導をしているか。
- ◆育成を目指す資質・能力を明確にし、それを身に付けるための言語活動や教材、単元計画を適切に設定しているか。
- ★育成を目指す資質・能力との関連を明確にし、自分の考えを深める場面等でICTを効果的に活用しているか。

書写(小)

- 姿勢、筆記具の持ち方、筆順等を意識し、文字を正しく整えて丁寧に書く指導をしているか。
- ◆生活や学習活動等での文字を書く様々な場面において、目的に応じて使用する筆記具を選び、特徴を生かして書く活動が取り入れられるよう工夫しているか。

社会(小)

- 必要な情報を読み取り、社会的事象の特色や意味等を理解し、文章等にまとめる活動を設定しているか。
- ◆社会的な見方・考え方を働かせながら、課題について考えたことを根拠をもとに説明したり、立場を明確にして議論したりできるよう工夫しているか。
- ★情報を収集する場面等でICTを効果的に活用しているか。

算数(小)

- 概念や性質の理解を確かなものにし、事象を数理的に処理する技能の定着を図るために適用問題に取り組んでいるか。
- ◆数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、問題解決に向かう学習活動を設定しているか。
- ★数量や図形についての感覚を豊かにしたり、表やグラフを用いて表現する力を高めたりするため、ICTを活用しているか。

理科(小)

- 観察、実験を通して基本的な技能を身に付けたり、得られた結果を適切に記録したりする活動を設定しているか。
- ◆問題解決の一連の活動を児童自身が行うようにしているか。「問題解決の力」を育成するための言語活動が充実しているか。
- ★観察、実験などの直接体験を基本としつつ、結果を明確にする場面などにおいて、ICTを効果的に活用しているか。

音楽(小)

- 「児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素」を適切に選択したり関連付けたりして指導しているか。
- ◆音楽によって喚起されたイメージや感情、思いや意図等を伝え合う活動を、題材計画において適切に設定しているか。
- ★音楽への理解を深めたり、主体的に学習に取り組んだりすることができるよう、ねらいを明確にしてICTを活用しているか。

図画工作(小)

- 自分の感覚や行為を通して形や色等を理解するとともに、自分の思いを生かした創造的な活動を楽しむ過程を通して、技能が育成されるよう工夫しているか。
- ◆★表現や鑑賞の活動において、〔共通事項〕に示す事項を視点とした言語活動の充実を図っているか。学習のねらいに応じて必要性を十分に検討し、ICTを活用しているか。

家庭(小)

- 実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的な知識・技能を身に付けられるよう指導しているか。
- ◆日常生活の中から問題を見だして課題を設定し、よりよくするための工夫を考え、実践を振り返る過程の中で、考えたことを表現するようにしているか。
- ★情報の収集や交流の場面でICTを効果的に活用しているか。

生活(小)

- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえて、幼児教育での学びや育ちを生かした指導をしているか。
- ◆繰り返し対象に関わる中で、「比べる」「試す」等の児童の姿を想定し、気付きを促す多様な活動を取り入れているか。
- ★低学年児童の発達の段階や特性を十分配慮して、ICTを振り返りや表現に活用し、活動への意欲を高めているか。

国語(中)

- 使いこなせる語句を増やし、意味や使い方に関する認識を深め、語感を磨き語彙を豊かにする指導をしているか。
- ◆資質・能力を効果的に育成する言語活動を設定し、生徒が目的や見通しをもって取り組めるよう工夫しているか。
- ★単元の中で、知識や技能を相互に関連付けながら、思考、判断、表現する場面において、ICTを活用しているか。

書写(中)

- 漢字の行書およびそれに調和した仮名について、読みやすく速く書くことができるよう指導をしているか。
- ◆身の回りの多様な表現を通して、目的や必要に応じ楷書又は行書を選び、効果的に文字を書く活動が取り入れられるよう工夫しているか。

社会(中)

- 社会的事象の特色および相互の関連を理解し、資料を効果的に活用し、必要な情報をまとめる活動を設定しているか。
- ◆社会的な見方・考え方を働かせながら、考察したことや選択・判断したことを論理的に説明したり、議論したりできるよう工夫しているか。
- ★情報を読み取る場面等でICTを効果的に活用しているか。

数学(中)

- 基礎的な知識や技能の定着を図るとともに、それらを基にして統合的・発展的に考える活動を設定しているか。
- ◆数学的な見方・考え方を働かせ、様々な事象を数学的に表現・焦点化した問題解決学習になるよう工夫しているか。
- ★一人ひとりが自分で考え、試行錯誤する主体的な探究活動を推進するためにICTを活用しているか。

理科(中)

- 観察、実験を通して技能の定着を図るとともに、科学的な用語や概念を活用して表現する活動を設定しているか。
- ◆理科の見方・考え方を働かせながら、科学的に探究する学習活動に取り組めるよう工夫しているか。
- ★観察、実験などの直接体験を基本としつつ、結果の分析や考察する場面などにおいて、ICT活用の工夫をしているか。

音楽(中)

- 「生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素」を適切に選択したり関連付けたりして指導しているか。
- ◆音楽表現に対する思いや意図、音楽に対する評価等を伝え合う活動を、題材計画において適切に設定しているか。
- ★音楽への理解を深めたり、主体的に学習に取り組んだりすることができるよう、ねらいを明確にしてICTを活用しているか。

美術(中)

- 〔共通事項〕の各指導事項を、表現や鑑賞の学習の中に適切に位置付けて実感的に理解できるようにしているか。
- ◆表現や鑑賞の活動において、自己との対話を深めることや、〔共通事項〕に示す事項を視点に言語活動を設定しているか。
- ★表現の可能性や幅を広げるために、映像メディアやICTの積極的な活用を図っているか。

YouTube「滋賀県GIGAチャンネル」
滋賀県1人1台端末活用事例

※県総合教育センターのユーザー名とパスワードが必要です。



★小中学校の全ての教科等について、公開しています。

技術(中)

- 問題解決の過程に、科学的な知識を踏まえた設計・計画、身体的な技能等を用いた製作・制作・育成といった活動を適切に設定しているか。
- ◆課題を解決するために言葉や図表、概念等を用いて考えたり、説明したりする等の学習活動が充実しているか。
- ★意見交流や作業の記録に、ICTを効果的に活用しているか。

家庭(中)

- 実践的・体験的な活動を通して、生活の自立に必要な基礎的な知識・技能を身に付けられるよう指導しているか。
- ◆家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生活を工夫し創造するために考え、実践を振り返る過程の中で、考察したことを表現するようにしているか。
- ★情報の収集や交流の場面でICTを効果的に活用しているか。

体育(小)

- どの児童にも、運動する楽しさや喜びを味わわせるために、単元でおさえるべき運動の行い方を明確に示し、技能を習得できるよう学習時間・場を設定しているか。
- ◆自己の課題解決に向けて考えたり話したりする場面をバランスよく設定したり、授業を展開したりしているか。
- ★課題や目標とする動きが可視化できるICTの活用があるか。

保健体育(中)

- どの生徒にも、運動する楽しさや喜びを味わわせるために、運動そのものを楽しんだり、運動の特性や魅力に触れたりできるよう工夫しているか。
- ◆自他の課題の発見やよりよい解決に向けて、考えたり話したりする場面をバランスよく設定し、授業を展開しているか。
- ★課題や目標とする動きが可視化できるICTの活用があるか。

外国語活動(小)

- 言語活動を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、音声や基本的な表現に慣れ親しむ指導をしているか。
- ◆★コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報や自分の考え等を伝え合うことを体験できる言語活動を設定し、目的に応じてICTも活用しながら授業を展開することができているか。

英語(中)

- 言語活動を通して、音声や語彙、表現、文法、言語の働き等の知識・技能の定着と活用を図る指導をしているか。
- ◆★Input-Intake-Outputの授業展開において、目的に応じてICTも活用しながら、「複数の領域を統合した言語活動」で知識や情報をIntakeすることを通してOutputする力を高める授業づくりができているか。

英語(小)

- 言語活動を通して、音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働き等の知識・技能の定着と活用を図る指導をしているか。
- ◆★コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、既得の知識や経験と新しい情報を整理し、自分の考え等を伝え合う言語活動を設定し、目的に応じてICTも活用しながら授業を展開することができているか。

道徳(小中)

- 指導観(価値観・児童生徒観・教材観)および「本時で児童生徒が考えを深めること」を明確にもっているか。
- ◆切り返し発問、意図的指名、言語活動・板書の工夫等によって、児童生徒の考えを深めようとしているか。
- ★目標に示されている学習活動を、より効果的に行うための手段として、ICTを活用しているか。

総合(小中)

- 全ての学習の基盤となる資質・能力の育成を重視し、他の教科等との相互の関連を図りながら指導しているか。
- ◆比較する、分類するなどの「考えるための技法」を活用した多様な他者との協働による課題解決の場を設定しているか。
- ★ICTを効果的に活用しながら情報を収集・整理・発信することによって、探究の質的向上が図れているか。

特活(小中)

- 学級会の進行に必要な知識・技能が身に付くよう指導するとともに、各活動の特質の違いを踏まえて指導しているか。
- ◆話し合う目的を明確にし、折り合いをつけて合意形成を図ったり、意思決定したりできるよう指導や助言をしているか。
- ★学級会における問題の発見や情報の収集・整理場面で、効果的にICTを活用しているか。

「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりのポイント



自分なりに解決し、知識を再構築する【③再構築】

- ・学んだことを子どもが自分の言葉で自覚できるように、「まとめ」や「振り返り」の充実を図りましょう。(時間の確保、振り返る視点を明確にする、蓄積する、価値付ける等)

情報を比較し、関連付けて整理する【②分析・整理】

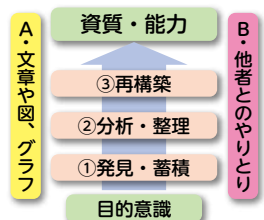
- ・目的に応じて、子ども自身が分析したり整理したりできるような学習展開を計画しましょう。
- ・子どもの学びの状況を捉えた上で、子どものどの考えを、どの順番で、どのように関連付けるとよいかを考えながら、授業をコーディネートすることにより、再構築につなげましょう。

必要な情報を確かに取り出す【①発見・蓄積】

- ・目的意識を大切にし、目的に応じて必要な情報を取り出せるように発問や教材等を工夫しましょう。
- ・子ども一人ひとりの学びの状況を見取り、文章や図、グラフなどの読み取り方等を丁寧に指導しましょう。

【目的意識】

- ・再構築した子どもの姿を具体的に想定し、そこから単元の構想や授業の展開を組み立てましょう。
- ・学習のゴールを子どもと共有し、解決への見通しがもてるようにしましょう。



しが「読み解く力」
研修動画 (理論編・実践編)



小中学校用家庭学習の手引き
自ら学びに向かう子どもの育成
を目指して

※県総合教育センターのユーザー名とパスワードが必要です。



視点2 生徒指導の実践上の視点を意識した学習集団の 基盤づくりと授業づくりの充実

生徒指導の実践上の視点を意識して、子どもが互いの立場や考えを尊重し、違いを認めて協力し合える学習集団づくりを進めることが、「協働的な学び」の効果を高めることにつながります。

自己存在感の感受を促進

- ・教材や発問等の工夫により、全ての子どもたちが考えたことを発言できる機会を設定する。
- ・机間指導で励ましたり、がんばりを認めたり、よさを褒めたりする。
- ・一人ひとりの発表内容を共感的に受け止め、評価する。

共感的な人間関係を育成

- ・多様な意見を認め合う雰囲気をつくる。
- ・自分とは違う意見等について、相手の立場に立って理解するよう促す。
- ・子どものささやきやつぶやきを聴き取り、子どもたちが互いの立場や考えを尊重し、違いを認め合えるようにする。

自己決定の場を提供

- ・子ども一人ひとりが学習目標を立てる場を設定する。
- ・調べ方等を自分で考える時間を設定する。 ・自分の考えをまとめて、表現する場を設定する。
- ・主権者として積極的に社会参画する力の素地を養う。

安全・安心な「居場所づくり」に配慮

- ・子ども一人ひとりが安全・安心に学べるよう、授業規律等を大切に、学級のよりよい雰囲気づくりを心がける。

生徒指導提要
(改訂版)
令和4年12月
文部科学省



視点3 学校全体で組織的・継続的に実践する「学ぶ力」向上の 取組の充実

管理職のリーダーシップのもと、全ての教職員が、課題やビジョンを共有し、PDCAサイクルにより取組を着実に推進することが大切です。



【学校全体で組織的に】

- ・学ぶ力向上推進リーダー等を中心に、各校における取組の重点を焦点化して、定期的な検証・改善を行いながら、教職員全体による「共通理解・共通実践」に取り組む。
- ・推進組織を明確にし、校内の各分掌と連携を図りながら、組織的で実効性のある取組を推進する。
- ・OJT推進リーダーやグループリーダーを中心とした体制を整え、メンター方式を取り入れた研修を実施するなどし、教員一人ひとりの指導力の向上を図る。

【中学校・義務教育学校の校区を単位として】

- ・幼稚園・保育所・認定こども園と小中学校等の教員等との合同研修会を実施し、幼保小・小中の連携の取組を推進しましょう。
- ・各校園の教員が互いに保育・授業を参観するなど、目指す子ども像を具体的な姿で共有し、「学ぶ力」の向上を図りましょう。

【学校園等と家庭・地域が一体となって】

- ・学校園等の「学ぶ力」向上の取組内容等を、家庭・地域に積極的に発信しましょう。
- ・子どもたちが、「早寝・早起き・朝ごはん」等の基本的な生活習慣を身に付けたり、家庭等で主体的に学習する習慣を身に付けたりできるよう、家庭・地域と連携した取組を行いましょう。

平成28年度～令和4年度
「学ぶ力」の向上につながる
学校や市町の実践事例



幼保小接続に向けた指導資料
学びをつなぐ幼保小架け橋ガイドブック
「架け橋期のカリキュラムを作成しよう！」

